学校番号	２０５

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	ＭＯＵＳＡ１　（教育芸術者）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４つの分野を学習します。
・音楽がどのようにして形作られ、どう感じてどう表すのかについて学習します。
・歴史的・文化的背景など、広い視野で音楽をとらえることで、音楽文化への理解を一層深めていきます。
・自分の感じたことを、どのように表現するかについて考えながら演奏・創作を行います。また、お互いの演奏を聴きあうことで刺激し合い、感性を高めていくことをめざします。

2　学習の到達目標

・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようになる。
・自己のイメージをもって創作表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	自己のイメージをもって音楽表現を工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を身に付けようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	発声の基礎	校歌 Ave Maria 「ヴォイス・トレーニング」	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b:音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱・形式・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察・聴取	観察・聴取	観察
	J-POPを歌おう	Lemon 翼をください 負けないで 若者のすべて	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b:音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱・形式・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察・聴取	観察・聴取	観察
	ギターの楽しみ	日曜日よりの使者 第三の男のテーマ	a:曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	観察・聴取	観察・聴取	観察

			c：ギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。			
	音楽を形作っている要素に注目して聴こう	組曲《動物の謝肉祭》 交響曲第9番《合唱付き》から第4楽章 バレエ音楽《火の鳥》	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造の関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 b:音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	学習プリント	学習プリント	観察・学習プリント
2	表現を工夫してリコーダーを演奏しよう	見上げてごらん夜の星を 天国と地獄 C-a-f-f-e-e グリースリーヴス ザナルカンドにて	a:【知】曲想とリコーダーの音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり、及びアーティキュレーションに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察・聴取	観察・聴取	観察
	日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して歌おう。	むこうむこう この道 Caro mio ben heidenröslein Ich liebe dich おおシャンゼリゼ	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b:音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱・形式・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取	観察・聴取	観察・聴取	観察

			り組もうとしている。			
	ミュージカルに親しもう	①　歌　唱　：Memory/美女と野獣 ②鑑賞：ミュージカル《キャッツ》	a:【知】①曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。②音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b:① 音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱・形式・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 ②音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:①曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 ②音楽の特徴と他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察・聴取 学習プリント	観察・聴取 学習プリント	観察 学習プリント
	「コード進行」をもとにメロディーをつくろう	「『コード進行』をもとにメロディーをつくろう」 「コード・ネーム」	a:【知】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能、及び旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付け、創作で表している。 b:音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c:音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	学習プリント	学習プリント	観察・学習プリント

3	表現を工夫して合唱を楽しもう	合唱曲	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、様々な表現形態による歌唱表現の特徴、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技】他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 b:音色、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:合唱やヴォイス・アンサンブルの豊かな響きを味わいながら他者との調和を意識して歌うことや、曲想が歌詞の内容や作曲者の思い、音楽の構造などとの関わりによってもたらされていることを理解しながら歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察・聴取	観察・聴取	観察
	日本の伝統音楽に親しもう	雅楽　舞楽《陵王》 能《道明寺》 箏曲《みだれ(乱輪舌)》 尺八曲　琴古流古典本曲《鹿の遠音》	a:我が国の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 b: 音色、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:我が国の伝統音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	学習プリント	学習プリント	観察 学習プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度